

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あおば		公表日			2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	法人内で協力し合う体制をとっています。	指定基準は満たしていますが、今後は、1人1人に合った支援ができるよう引き続き専門性の高い職員の配置を行っていきます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1		室内のバイヤフリー化はできていますが、細かい部分の整備を今後、進めていきます		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		空間はあるが玩具や教材を安全に収納できるスペースがないので、安全に首脳出来るように改善を行っていきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3		短時間勤務の職員は、なかなか参画できていないので、全員職員ができる体制を整えていきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		自己評価結果を職員会議等で把握し。職員全員が共通理解し改善できるところから進めて行きます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		職員会議などで意見交換をするようにしているが、なかなかすぐに改善につながらない点もあるので、迅速に改善できるよう努めていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者外部評価は行っておりませんが、外部からのご意見やご指導は頂き、業務に生かしています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		法人内での研修は、限られたものしかできていないので今後は、外部講師を招いての研修も考えていきたいと思います。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	支援計画を作成にあたっては、関わる全ての職員1人1人の意見を取り入れながら作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		現場以外の業務が多い職員が支援計画を理解できてない事があるので、児発管が中心になって共通理解できるような体制を作っていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・他機関で行われたアセスメントや検査結果等を保護者様から共有頂き支援の参考とさせて頂いています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・日々の支援やモニタリングを通して、保護者の方からのご意見やご要望を伺い、児童発達支援ガイドラインにもとずいて計画を作成するよう努めています。定期的にガイドライン等の勉強会を開催し、根本的な部分の理解を深めています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	多機能事業所なので、放ディ担当職員も含め全員で意見を出し合い立案しています。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子供たちの新しい事への挑戦を大切にしているので活動プログラムは多様です。	教材や玩具を増やしていく事で、更なる療育の幅が広がるので、教材の見直しを今後行っていきます。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子どもの発達状況に合わせて、活動内容を考えています。この子に何が1番必要な活動なのかを日々話し合っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	前日の打ち合わせは行っています。	職員全員での打ち合わせは、できない事もあるので、短時間でも必ずミーティングができるシステム作りをしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	終礼時に一日の振り返りを行っています。	不在職員への申し送りが、漏れてしまうことがあるので、今後は記録（ノート）などを活用し全員が共有できるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2		定期的にできない時もあるが、都度の見直しは行っています。今後は、モニタリングの実施を的確に行って行きます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	都度、困りごと等は、保護者の方を通じて主治医の方に意見を頂いたり、関係機関と連携をとるようにしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	移行支援として、保育園・幼稚園・支援学校等との情報の共有は行っています。事前の話し合いなども丁寧に行っています。並行利用のお子さんについても、情報交換を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		
	28	（28～30は、センターのみ回答）	—	—		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	（31は、事業所のみ回答）	1	5	現段階では、他事業所と連携し助言などを頂いています。	今後は、児童発達支援センターとの連携をとっていきたいと思っています。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		保育園や幼稚園等へ直接行くことはなかなかできませんが、外出先などでの触れ合いを大切にしています。今後は、幼稚園等の交流も検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		現在は、まだ十分な対応ができていないので今後は、研修に参加するなどし家族支援プログラムの支援に力を入れていきます。 ペアレント・トレーニングの経験者もいるので、その職員を中心に勉強会を開いていきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	聞き取りやモニタリングの際に、支援内容を保護者様に確認し、同意を得ています	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	随時、相談できる体制は整えています。状況により、面談、電話など臨機応変に対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		今後は、保護者様のご意見も聞きながら、茶話会や交流会（子どもを含む）などの開催も検討していきます。 ※保護者会は、共働きの家庭も多いので難しいと思われます。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談や申し入れは、都度、対応できる体制は整えています。	保護者の方に周知まではできていなかったので今後、お便りなどで周知していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月の便りやブログなどで活動様子を発信しています。	連絡体制が不十分なところもあるので、今後は連絡体制がスムーズに取れるシステムを取り入れて行きます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	色々な方法（ツール等）を使って意思の疎通を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	招待などは行ってませんが、散歩や公園に行く時には、挨拶をするなど関りを持つようになっています。	地域との交流が少ないので、今後は、事業所開放や行事に招待するなど計画していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	毎月一回子どもと職員では、地震・火災・不審者・竜巻・水害等を想定した訓練行っています。	マニュアルの見直しを行い、事業所によりあったマニュアルを作成していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1		救出などの訓練までには至っていません。 災害に向けた訓練は行えていません。今後、しっかり計画を立てて訓練を行って行きます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時にアセスメントシートや聞き取りなどにより確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	基本、医師の投薬指示書の提示をお願いしています。その他の対応については保護者様より情報を頂き対応しています。	出来る限り、医師の指示書の提出をお願いするようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理については、日々、話し合っています。	職員間で研修を行い安全管理について見直しを行って行きます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		安全計画の取組内容について、周知はできていません。今後、連携が図れるように努めていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリ・ハットのノートを作り、全職員がいつでも記入できる体制をとり、改善策など全員が共有できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	研修会を行い、マニュアルなどの見直しを都度行っています。	マニュアルの直しが遅れてしまうことがあるので、迅速に取り組めるようにします。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束は行っていません	